むきばんだ花だより3月

2014. 3. 1

瀬戸内らしい晴れ渡った春の陽。民家の路地から遮るものもなく登れてしまう全国四位の巨大な造山古墳には、タンポポがたくさん咲いていました。鮮やかな黄色に外来種を予想していたツアー参加者たちは、総苞外片が上向きで内片に完全に圧着しているのを確認して、それが在来種のカンサイタンポポであることに驚きました。 古代遺跡の周辺は古(いにしえ)の空気が漂っているようです。。



「草の名の謂れ聞きけり野に遊ぶ 」































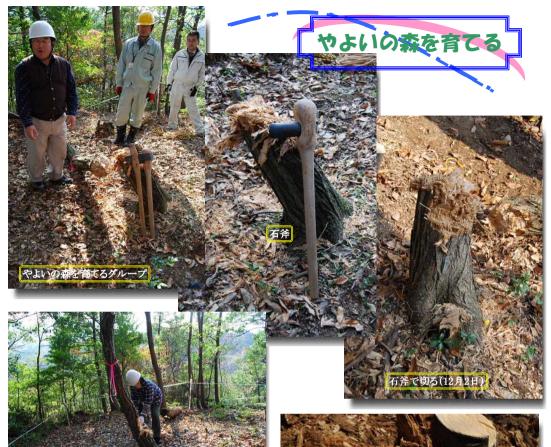


















石斧で(12月2日)

鉄斧で切った栗の木(3月1日)